

## 【活動紹介】多治見市総合防災訓練への参画

総合防災訓練は、市民一人ひとりが災害発生時の対応を体験することにより、防災意識の高揚と知識の向上、技能を習得する機会にすることを目的としています。

防災士の会では、29人が訓練に対応し、参加した市民に対する防災資機材の組立体験、防災倉庫内の備蓄品展示を行いました。

### 1 日時

令和7年9月13日（土）午前7時30分～午前10時まで

### 2 場所

多治見市立精華小学校

### 3 状況

#### (1) 組立体験の資機材等

- ① 簡易トイレ ② ラップ式トイレ ③ マンホールトイレ ④ 簡易ベッド  
⑤ 段ボールベッド ⑥ パーティション ⑦ 防災倉庫の備蓄品展示

#### (2) 内容

訓練には防災士29人が対応し、各資機材の組立方法から片付け方までを資機材の機能活用事例などを説明しながら、来場した市民に理解していただきました。

#### (3) 訓練を終えてのコメント

参加した市民からは、「身近に防災知識の豊富な防災士が存在していることは心強い」との声が聞かれました。

### 4 その他

訓練への対応状況はご覧のとおりです。



訓練前の手配状況



防災倉庫の案内



資機材組立体験



マンホールトイレの展示